

# 小学部だより

筑波大学附属

桐が丘特別支援学校

小学部通信第 13 号

2016. 3. 24. 発行

桜の開花が楽しみな季節になりました。でも実は、その花芽は前年の夏から秋にかけてすでにつくられていることはご存じですか。花芽はできていても、そこからじっくり季節を感じ、時間をかけて、この時期を迎えるのです。

子どもたちも、卒業・進級の節目の時期を迎えました。新しいステージで、これまで培ってきた力を大きく花開かせていくことでしょう。

1 年間、教育・研究活動へのご理解とご協力、ありがとうございました。



## ご卒業おめでとうございます

6 年生がおもしろかったから楽しく勉強できた。



6 年生は意見をしっかりとくわしく言っていてすごいと思った。

6 年生が教えてくれてうれしかった。

### 後輩からの言葉の花束

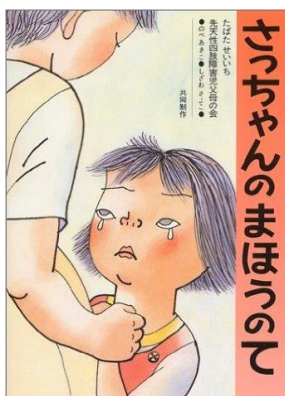
6 年生が毎回引っ張ってくれました。

はじめは戸惑いながらも、合同道徳や委員会活動、懇談会の居残りなどで下級生をリードしてくれた 6 年生。後輩たちは先輩の姿をしっかりとみていましたよ。1 年間ありがとう。



## 自分と向き合う 自分と付き合う

合同道徳「自分をみつめて」で『さっちゃんのまほうのて』について感想を述べ合いました。その一部を紹介します。



小さい頃から車椅子だからできないことがあると思っていた。でも今は、車椅子だけど、車椅子だからこそできることもあるってことをさっちゃんに伝えたい。



さっちゃんもつらかったと思うけど、さっちゃんのお母さんもつらかったと思う。指がないという真実を、さっちゃんにいつか伝えなければならないから…。

